

# ♪ 音楽の授業へようこそ ♪

## 1 学習のねらい

中学校の音楽では、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養うことを身につけます。

## 2 主な学習内容

	1 年 生	2 年 生	3 年 生
1 学 期	<p>心を伝えあう歌い方を求めてしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌</li> <li>・Forever 他</li> </ul> <p>情景と音楽とのかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「四季」から「春」</li> </ul> <p>旋律のまとまりと構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主人は冷たい土の中に</li> <li>・アルトリコーダー</li> </ul> <p>合唱曲の選曲</p>	<p>曲想の変化の理解と表現の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夢の世界を</li> <li>・夏の日のおくりもの</li> </ul> <p>アルトリコーダーを楽しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラヴァースコンチェルト</li> </ul> <p>言葉を大切にした歌唱表現の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の思い出</li> </ul> <p>フーガの面白さを味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『小フーガト短調』 他</li> </ul> <p>合唱曲の選曲</p>	<p>曲想を感じ取って表情豊かに歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花</li> </ul> <p>アンサンブルを楽しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダー二重奏</li> </ul> <p>名曲の鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルタバ</li> </ul> <p>合唱曲の選曲</p>
2 学 期	<p>混声合唱の豊かな響きを楽しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年合唱曲</li> <li>・クラス合唱曲</li> </ul> <p>詩と音楽とのかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤とんぼ</li> <li>・浜辺の歌</li> </ul> <p>物語を歌で表現する芸術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魔王</li> </ul> <p>日本の音楽に親しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さくら 箏の演奏</li> </ul>	<p>混声合唱の豊かな響きを楽しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年合唱曲</li> <li>・クラス合唱曲</li> </ul> <p>日本の歌の美しさを求めて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒城の月</li> </ul> <p>動機の展開を伴う形式の面白さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベートーヴェン 『交響曲第5番』</li> </ul>	<p>混声合唱の豊かな響きを楽しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年合唱曲</li> <li>・クラス合唱曲</li> </ul> <p>イタリアの心を表わす歌の味わい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰れソレントへ</li> </ul> <p>日本の伝統音楽を味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雅楽「越天楽」</li> <li>・能「羽衣」</li> </ul>
3 学 期	<p>アジアの民族音楽に親しもう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『アジアの民族音楽』</li> <li>・リコーダー曲集より</li> </ul> <p>卒業の喜びを歌で表現しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生を送る会の歌</li> <li>・卒業式の歌</li> </ul>	<p>舞台芸術と音楽</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勸進帳</li> </ul> <p>卒業の喜びを歌で表現しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生を送る会の歌</li> <li>・卒業式の歌</li> </ul>	<p>日本の心を表わす歌の味わい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早春賦</li> <li>・花の街</li> </ul> <p>耳でたどる音楽史</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中世～現代音楽まで</li> </ul> <p>合唱の醍醐味を感じよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式歌</li> <li>・卒業式の歌</li> </ul>

### 3 学習の仕方

《1》持ち物 ----- 忘れ物を絶対にしないようにしましょう。持ち物は次の通りです。

- 教科書類 1年生は音楽1の教科書 2年生は2・3(上)、3年生は2・3(下)、  
器楽 表現と鑑賞の資料
- ファイル・・・配られたプリント類をとじておきます。 ○コーラスステージ
- アルトリコーダー ○筆記用具

※いつも一つの袋にまとめておきましょう。

《2》授業の受け方

- ① 週一時間の音楽の授業は大変貴重です。一時間一時間を大切にし、積極的な気持ちで授業に参加していきましょう。先生や友達のアドバイスを受けながら、より良い表現が出来るように工夫していきましょう。とにかく練習をたくさんすること、恥ずかしがらず表現することを心掛けて下さい。
- ② 表現活動をするのと同じ位、耳をよく使っていきましょう。模範演奏はもちろんですが仲間の演奏の中からも素晴らしい表現を発見することがあります。また、鑑賞教材では世界の素晴らしい音楽を聴くことができます。耳と心を傾けて聴きましょう。
- ③ 特に合唱ではパート練習が大切です。パートリーダーを中心に自分達で練習が出来るようにしたいものです。仲間と共に協力しあい、力を合わせて練習に取り組んでいくことによって、歌う喜びを味わうと共に仲間との絆も深まっていくことと思います。
- ④ アルト笛は週一回の練習だけではなかなか身につみにくい面もあります。時間を見つけて練習を繰り返していくことが上達につながります。
- ⑤ 普段から音楽に関連するいろいろなことに関心をもっていきましょう。自然音や環境音にも耳を傾けましょう。

### 4 評価について

1年間を通して、次の4つの観点から学習の様子を評価します。

- ♪ 音楽への関心・意欲・態度
- ♪ 音楽表現の創意工夫
- ♪ 音楽表現の技能
- ♪ 鑑賞の能力

上の4つの観点をそれぞれ3つの段階で評価していきます。

上記の4つの観点で、A・・・3点、B・・・2点、C・・・1点として

観 点 の 合 計	4	5	6	7	8	9	10	11	12
音楽の 評 定	1	2	3			4		5	

- ① 音楽への関心・意欲・態度  
学習内容に対する取り組み状況、忘れ物の有無、提出物の有無などを見ます。
- ② 音楽表現の創意工夫  
音楽の良さや特徴を感受しているか、またそれを表現に生かそうと工夫しているかを見ます。  
実技テストやワークシート、活動の中で見ます。
- ③ 音楽表現の技能  
積極的に表現活動をするための発声や、楽器で表現する基礎的な力がついているかを見ます。主に実技テストで見ます。
- ④ 鑑賞の能力  
曲の雰囲気やいろいろな要素を聴き取り、文化や歴史と関わらせながら、自分なりの音楽観を広げようとしているかを見ます。主に授業中やワークシートで見ます。

①、②、④には、学期末テストの一部が入ります。